

2020
6月開催

六世代座談会

GENERATION DISCUSSION



稲葉裕之
(40代)

田中俊郎
(50代)

川上凌雅
(10代)

石井徹
(30代)

大田美祈子
(20代)

横山とよ
(60代)

社長通信

「多様性は私達の強み」

中田工芸の強みの一つに、「社員の多様性」があります。「素晴らしいハンガーを作ってお客様に届ける」という共通の目的の為に日々集い、皆で一丸となり仕事に取り組み何を何十年と繰り返してきています。年齢も10代から上は60代まで全ての年代が揃っています。以前は80代までいた時もありました。出身も但馬だけでなく県外からの人もいますし、シヨールームには関東の人もいます。他の会社でも当たり前にいるのでは、と思うかもしれませんが、私達はこの多様性に大いなる価値を見出しています。当然、様々な個性や異なる考え方を持つ人間が集まる訳ですので、意見や考えが合わなかったり衝突することもあるでしょう。大事なことは、違っても良いと思うこと、そしてまずは「受け入れる」とことだと思えます。例えば受け入れられなくても、相手に「敬意」を持つようにしましょう。

私もアメリカに留学していた時にはアメリカ人を始め、メキシコ人、中国人、ブラジル人とルームメイトとして暮らしたことがあります。当然ですが、考えや生活習慣・好みが合わないことがありません。ただ、コミュニケーションを取る中で気付いたのは自分が正しいということはありません、という事です。受け入れることは難しくても、「なるほど、そういう考えも一理あるな」と認識することは、ものごとを多面的に捉えることにできるようになり、ビジネス・仕事をやる上で大いに役立っていると思えます。異なることだけでなく、思いが一致した時、同じ出来事で喜びを共有できる場面があると誰しも嬉しいはず。それは年齢や出身は関係ありません。中田工芸にも将来外国出身の社員が加わって欲しいと考えています。世界一を目指すためには必要です。その時には同じ志を持った仲間として受け入れる素養を持つことが大事です。多様性の拡張は私達の成長のポテンシャルだと捉えています。

もちろん企業として成果を出すために、組織にはルールや規律が求められますが、それは寧ろ皆が安心して仕事をするのに必要なことでもあります。正しい規則があることで安心して業務に励んだり、自分の意見を言うことができると思っています。そのような環境を常に整えたいと考えています。社会や時代の変化に合わせて変える必要があるもので終わりのない仕事ですが、それが経営でもありません。大きな話にもなりましたが、まずは目下取り組んでいる「ジェンダー平等の実現」、「仕事と家庭生活を両立させる」ための改善を着実に実行していくようにします。「くるみんマーク」の取得もその一環です。「多様性（を大事にする）」、「環境問題への取り組み」、「海外への挑戦」は2020年代の中田工芸の経営方針。今年はコロナ禍で大変な一年になってしまいましたが、皆で協力すれば確実に乗り越えることができます。常に未来を見据えて、一日一日を大切に過ごしていきましょう！（2020年8月）



中田工芸における多様性の可能性を探る

現

代日本において、ダイバーシティ促進が重要視され、ジェンダー平等はもちろんのこと、世代間ギャップ等についての話題が取り上げられることも多々あります。

中田工芸でも幅広い年代の社員たちが働いています。そんな中、十代から六十代までが揃った今この機会に、色々なお話を伺おうと、この座談会を企画しました。

年齢や性別、仕事内容、これまでの経験等、様々な違いを持つ人達が集まるこの環境でどんなことを感じ、何を考えて働いているのか。会社とハンガーの現在と未来について話し合いました。



川上 凌雅
 所属：成型課
 年齢：10代
 今更 ONE PIECE にハマってます！(アニメ派)

世界一を目指す船の一員として

川上…成型課には十九歳の自分から、父よりも年上の五十代の方まで、幅広い年代の職人がいます。その中でも年齢差やストレスを感じることもなくやれています。仕事は楽しいです。元々、ものをキレイにしていこうということが好きで、そこにプラス『世界一』という言葉に ONE PIECE を感じて(笑)。荒磨きの工程はやりがいを感じています。

司会…じゃあ『世界一(海賊王)』になるためには、どういうことをしていったらいいと思う？

川上…ハンガリーの認知度を高めること。そのために何か大きな挑戦がしてみたいです。何かバズるもの、例えば世界一大きなハンガーとか…。いいかもかもしれませんね。

『世界一を目指す』という理念に惹かれて入社したので、この環境の中で自身も成長していきたいです。

稲葉…今後は周りの人たちの真似をしていくと、自然と川上さんの強みが出てくるし、それを活かせるような職人になってね。

川上…なるほど。いいアドバイスをいただきました！

司会…良い環境だったんですね。先輩となった現在の目標は？

稲葉…最近、若い人たちが増えましたね。自分が頼られる存在となり、様々なことを教えることができたと思います。営業の一番上の立場になったことで、先輩にどう見せるか、どう見られていくのかを考えながらやっていきたいですね。

司会…俺の背中を見ろ！ですね。世界進出という目標について。

稲葉…ハンガーについては、世界レベルで考えるときはまだ伸び代はたくさんあると思っています。完成度を高めながら、今の若い世代の人たちをきっかけにして、情報発信や商品開発等、様々なことに共に積極的に取り組んでいきたいですね。



田中 俊郎
 所属：商品部
 年齢：50代
 日曜日は朝から晩までテレビ三昧。時々庭いじり。

昔から今、今から未来に向けて

田中…最近は特に若い人が増えて、こちらまで若返るような感じがします。毎日が明るくて楽しい雰囲気ですね。

司会…長い社歴の中で、今までどんな仕事をしてきました？

田中…荒磨き、塗装、外注協力工場の担当、それから商品部。



大田 美祈子
 所属：営業開発課
 年齢：20代
 アマゾンプライム名誉会員。映画めっちゃ見ます。

多様な人材が目指す未来は同じ

大田…学生時から海外と関わる仕事をしたい思いがありました。地元に戻り、日本で唯一の木製ハンガリーメーカーという独自性に惹かれて入社を決意しました。司会…入社前と、実際に働いてみての感想はどう？

大田…当時は「メーカー」の勝手なイメージで、世代や性別差の問題等、不安は多々ありましたが、入社してみるとそんなこと



長年働いてきているので、そこで培った経験や技術を教えられたらいいなと思います。

司会…俊郎さんだからこそ出来る事ですね。いまこの環境についてどう思いますか？

田中…皆いい人ばかりでチームワークもよく、丁度いいバランスが取れていますね。

司会…今と昔、中田工芸のハンガーについて教えてください。

田中…ハンガーの品質については、昔から世界的に見ても優れていると思います。今後はさらに面白みや遊びが出せるともつといいなと考えています。商品はもちろん、製造工程もまだまだ改善の余地があると思います。昔のままのやり方ではなく、どんどん新しいことにチャレンジしていきたいですね。

とは一切無く、多様な人材が力をあわせて働いている先進的な環境でした。皆、懐が広くて優しく真面目な人ばかり。とても個性豊かです。皆が自分の得意なことを活かして働いています。司会…なるほど、これから先の目標って、何かある？

大田…私たちが丹精込めて作ったハンガーを世界中の人たちに届けるために何ができるか？それをもっと考えて行きたいです。情報発信が大事という話もありましたし、越境ECも控えていますよね。今後は語学を活かして、そういった方面でナカタハンガーを広められたらいいなと。海外展開という大きな目標に向かって、みんなで一丸となって頑張っていきたいと思います。



石井 徹
 所属：塗装課
 年齢：30代
 暇さえあれば筋トレ！塗装と筋肉の関係性を研究中。

趣味から仕事にさらに極めていきたい

石井…現在、塗装課での仕事は四年目です。課はもちろん、会社全体が意見が通りやすい環境なので、チャレンジを後押ししてくれます。そういうところにとってもやりがいを感じています。年齢も趣味も違う個性豊かな人たちが働いていますが、逆にそれが楽しく毎日良い刺激をもたらしてくれます。



横山 とよ
 所属：営業開発課
 年齢：60代
 長年いますが、実はハンガーに詳しくありません…。

時代が変わっても変わらないものを大切に

横山…会社全体の平均年齢が下がり、若い人たちが多くなりました。私が入社した当時からオフロコンを使ったりしていました。最近の機械化の流れは早いです。ついていけなくなることも…。でもそんな時は、若い人たちが助けてくれるのでとても頼りになりました。

司会…世代間の交流とサポートがあるわけですね。

横山…そうですね。私は経験を、若い人たちは知識をと、お互いに支え合いながら上手く業務が進められていると感じます。司会…昔と今を比べて感じたことって何かありますか？

横山…最近は当社のハンガーがメディアで取り上げられることがとても増えてきました。向こうから声をかけていただいて、紹介してもらえるとというのはナカタハンガーが評価されている証拠ではないでしょうか。

司会…入社当時から、中田工芸の品質については一定の評価がありました。今後も変わらず素晴らしいものづくりを続けて、それが世界中に広がっていきければ嬉しいなと思います。

司会…入社のきっかけは？

石井…元々趣味で色々な物の塗装をしていました。車の部品や家具を塗ったり。そんな中で木を塗装する技術を習得したいという気持ちで芽生えたとき、当社を紹介しているテレビ番組を見て入社を決意しました。司会…塗装以外に何かやってみたいことがあるんですか？

石井…一貫作業に興味がありますね。フリーハンドとかも。実は最近南京鉋を買いました(笑)。でもまずは、お客様のどんな要望にもお応えできるようにしたいです。そして世界のレベルを知った上で、世界で評価される塗装技術を身につけられるように、日々しっかり励んでいきたいと思っています。



稲葉 裕之
 所属：営業1課
 年齢：40代
 豊岡の美味しい飯は俺に聞け！エンゲル係数高め。

若いメンバーと創るこれからの中田工芸

稲葉…入社当時から「一人に恵まれてきた」と強く思います。当時、社会人の常識や言葉遣い等の基本を指導いただいたのは今も忘れません。

先輩たちの仕事を真似ながら、どうすれば現場の人たちに伝えられるか、お客様の要望にお応えできるかを毎日考えてきましたね。

あとがき

司会

皆陽気な事もあり、普段接する機会が少ない部署の人たちとも自然に打ち解けられ、大いに盛り上がった座談会となりました。笑顔と笑いの耐えない楽しい一時間でした。

中でも印象的だったのは、年代差が広いにも関わらず縦横の区別がなく、いい意味で個性派揃いの中うまく「輪」になって仕事回っているなど、共通の目標がある組織の強さをそこに感じました。

拙い進行でしたが、出席した皆さん、いかがでしたか？また機会があれば、他の方たちにもお話を伺ってみたいと思います。

